

作成日 2007年2月14日 作成者 1900/1/0 確認日 2007年2月15日 確認者 1900/1/0

建物概要		注1	
建物名称	(仮称)大上之町共同住宅		
建物用途	集合住宅		
建設地・気候区分	京都市上京区	地域区分	
地域・地区	第一種住居地域	外観バース等	
竣工年	2008年3月 予定	階数	地下1F地上7F
敷地面積	1,006 m ²	構造	R C造
建築面積	602 m ²	平均居住人員	88 人
延床面積	2,515 m ²	年間使用時間	8,760 時間/年

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

建築物の総合的な環境性能評価結果 注1, 2

-1 建築物の環境品質・性能と環境負荷低減性(評価分野毎)

Q 建築物の環境品質・性能 (建築物の居住環境のアメニティを向上させる性能評価)

スコア(評価点): $S_Q = 2.9$ $SQ = 0.4 * SQ1 + 0.3 * SQ2 + 0.3 * SQ3$

レーダーチャート

Q-1 スコア(評価点) $S_{Q1} = 3.0$

Q-2 スコア(評価点) $S_{Q2} = 3.4$

Q-3 スコア(評価点) $S_{Q3} = 2.4$

評価分野	スコア
音環境	2.5
温熱環境	2.2
光・視環境	2.1
空気質環境	4.1
機能性	4.1
耐用性・信頼性	3.0
対応性・更新性	2.7
生物環境	1.0
まちなみ・景観	4.0
地域性・アメニティ	1.5

LR 建築物の環境負荷低減性 (建築物の環境負荷を低減させる性能評価)

スコア(評価点): $S_{LR} = 3.3$ $SLR = 0.4 * SLR1 + 0.3 * SLR2 + 0.3 * SLR3$

LR-1 スコア(評価点): $S_{LR1} = 3.7$

LR-2 スコア(評価点): $S_{LR2} = 3.7$

LR-3 スコア(評価点): $S_{LR3} = 2.3$

評価分野	スコア
建物の熱負荷	4.0
自然エネルギー	2.5
設備システム効率化	4.0
効率的運用	N.A.
水資源保護	3.0
低環境負荷材料	3.8
大気汚染	1.0
騒音・振動・悪臭	1.0
風害	1.0
光害	5.0
ヒートアイランド化	3.0
地域インフラ負荷	2.0

-2 建築物の環境性能効率(BEE: Building Environmental Efficiency)

BEEによる建築物のサステナビリティランキング

BEE = $\frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の外部環境負荷 } L}$

$= \frac{25 * (S_Q - 1)}{25 * (5 - S_{LR})} = \frac{48}{44} = 1.1$

Q = 25 * (S_Q - 1) *S_Q: Score of Q category
SQ = 0.4 * SQ1 + 0.3 * SQ2 + 0.3 * SQ3

L = 25 * (5 - S_{LR}) *S_{LR}: Score of LR category
SLR = 0.4 * SLR1 + 0.3 * SLR2 + 0.3 * SLR3

建築物の総合的な環境性能とは別種の重要評価項目 注3

-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標 <実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

項目	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²	
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²	
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²	
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²	
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²	
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²	

-2 デザインプロセスの評価

配慮項目	評価
設計段階	
1 有資格者による設計	
建設段階	
1 環境管理計画	

備考 注1: 評価結果の表示は - まで
注2: 敷地選定に関わる評価は対象外、当該敷地に建てられる標準的な建築物の得点が3点、NAは評価対象外とした項目を示す。
注3: の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。